

飛び出せ!! OKINAWA みんなでグッジョブ運動

# ヒト・モノ・企業のグッジョブ

沖縄を飛び出し、県外や海外で認められている  
ヒトやモノ・コト、企業のおふれる  
パワーをお届けします。

ダンサー・振付師  
**仲宗根梨乃**

今回のグッジョブはロサンゼルス在住で  
アジア、アメリカを中心に活躍する  
ダンサー・振付師「仲宗根梨乃さん」です。

今注目のK-POPアイドルの  
振付も担当しているのよ。



エンターテインメントの第一線で活躍する  
「仲宗根梨乃さん」



身振り手振り、時には振付を言葉にしてわかりやすく伝える

子どもの頃の夢を  
一途に追い求めて

子どもの頃から意志が強く、とにかくダンス好き。「好きなことを一生懸命やっていたら今につながった。結局は練習と努力、そしてハートとパッションがあるかどうか」とこの世界の厳しさを語ります。ダンサーと振付師、それぞれの仕事の魅力については、「ダンサーはどれだけ忠実に振付を再現し、その中で自分らしさを出せるかが大事。パフォーマーが大好きなので、自己表現ができる喜びがあります。振付師は音楽を聞いたとき、歌詞を読んでひらめいたこと、考えたことを人が踊るとてもクリエイティブな仕事で、エンターテインメント全体が好きだから、二つがとて面白いバランス」と話します。



強い意志を秘めたまっすぐな瞳が魅力的な仲宗根さん

沖縄がはぐくんだ  
ポジティブさと  
自然体の大らかさ

アメリカであいさつ代わりに「ハイサイ」を広めたり、ダンスに琉球舞踊のエッセンスを盛り込むなど、沖縄を離れてから郷土の伝統文化

かつてマイケルの振付を真似ていた仲宗根さん。今は彼女が振付したK-POPアイドルのダンスを多くの若い世代が真似て社会現象に。「こんなにうれしいことはない」と感慨深げです。

ダンサー・振付師として  
ワールドワイドに活躍

「ダウン、ダラーンって感じで動くわけ、わかる？」振付を独特の言葉で表現して指導を行うのは、那覇市出身でロサンゼルス在住のダンサー・振付師、仲宗根梨乃さん。小学校五年生の時にテレビで見たマイケル・ジャクソンに衝撃を受け、中学二年生の時は彼のコンサートにさらにインスパイアされ、エンターティナーを意識してアメリカ行きを決意。「マイケルのおかげで自分の中で何かが起こった。人の影響力ってすごい。やる気があれば人は変われると確信しました」。苦手な英語も猛勉強して高校時代には短期留学を経験。十九歳のときに単身渡米し、カレッジに通いながらさまざまなジャンルのダン



個性的なコスチュームでポーズを決める仲宗根梨乃さん



琉球ゴールデンキングス専属ダンスチームのワークショップにて音楽に合わせて念入りにウォーミングアップを行う

には「心の声を信じる！」と言いたい。バレエもジャズもできない身体の小さな私でもやれたのだから大丈夫！」とエールを贈ります。「今後は一人のエンターティナーとして何ができるか挑戦したい」。強さとしなやかさを併せ持つ、自然体の生き方が魅力的でした。

何事も徹底的に  
取り組むことって大切ね。



「ダンサーとしてのパッション、そしてマイケルという最高のアーティストが先生だったこと。マイケルをお手本にして学び、育ってきたことが評価につながっているんじゃないかと思えます。パックダンサー一人ひとりのダンスまでとことん研究しましたから」と語る仲宗根さん。好きなことには徹底的に取り組む。その姿勢が世界で通用する高い技術や情熱をはぐくんだといえます。



仲宗根さんの指導で  
みんなの動きにメリハリが生まれる



振付の通し練習で笑顔の  
仲宗根さん